



健康白書 2025

FUJI OIL Health and Wellbeing Report

「健康」の世界に確かな価値を

目次

- 0 2 不二製油 健康経営推進宣言
- 0 3 不二製油が目指す健康経営の姿
- 0 4 自身で目指す健康の姿
- 0 5 健康で広がる幸せの輪
- 0 6 「健康」を文化に 目標とする従業員像
- 0 7 健康施策 1
- 0 8 健康施策 2
- 0 9 健康施策 3
- 1 0 地域を巻き込んだ活動
- 1 1 健康経営の取り組み結果



不二製油

健康経営推進宣言

不二製油グループは、あらゆる人と地球の健康に最大限貢献していくために
社員の健康維持・増進を目指します

不二製油 健康経営推進宣言

不二製油グループ憲法のビジョンに「植物性素材でおいさと健康を追求し、
サステナブルな食の未来を共創します」と掲げています。

このビジョンのもと、2017年より「健康経営推進宣言」を発出し、健康は
本人・家族の幸せだけでなく、企業力を高める重要な要素と捉え、積極的に
健康経営に取り組んでいます。

健康経営は従業員の健康と幸せを第一義の目的と考えており、この度、更に
踏み込んだ施策を進めます。まずは事業所敷地内及び、就業時間内を全面禁煙
とし、従業員の健康維持・疾病予防および受動喫煙防止を図ります。

大切な従業員の健康を守るために、生活習慣病予防やメンタルヘルス不調の
予防などの施策を通じて、健康維持・増進に努め、企業価値のさらなる向上を
目指します。そしてこれからも、従業員はもとより、あらゆる人と地球の健康
に貢献していきます。



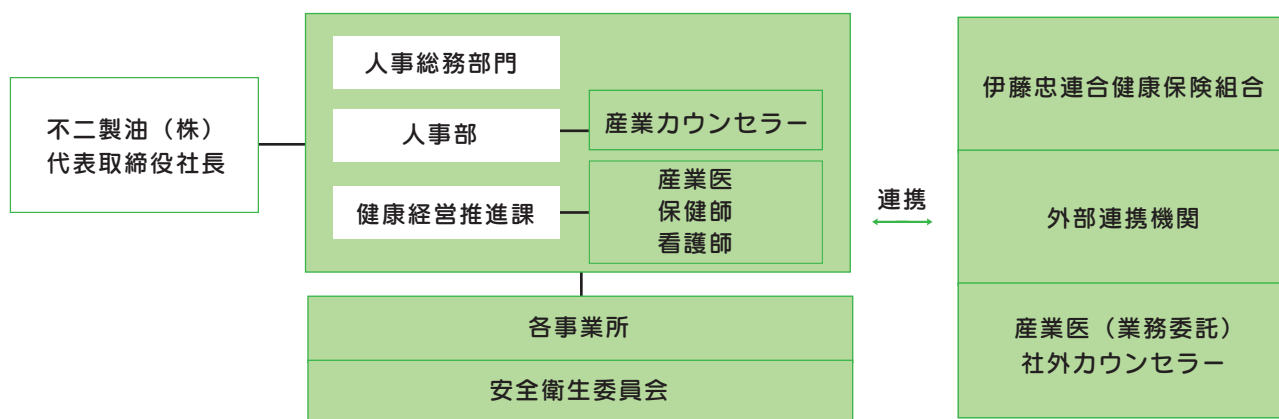
代表取締役社長
最高経営責任者 (CEO)
大森 達司

健康経営優良法人 大規模法人部門に認定

不二製油は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、
戦略的に取り組んでいる企業として、経済産業省および
日本健康会議による認定制度
「健康経営優良法人 大規模法人部門」に、2017年より
8年連続で認定されています。



不二製油(株)の推進体制





不二製油が目指す「健康経営」の姿



健康とは身体的な健康だけではなく精神的な健康、さらに人間関係や生活、社会との関わりなどから得られる幸福感も大切と考えています

内容豊富な健康診断による安心の健康管理



「29 歳以下健診」「成人病健診」「人間ドック」など年齢別に豊富な検査を実施しています。健診結果についてはシステム管理を行い、その年の数値による判定だけではなく、数年間の経過も加味した会社独自の健診判定を行っています。また二次検診 100%受診を目指し、健康寿命を延ばすことを目標に医療・保健スタッフによる関わりを充実させています。

ヘルスリテラシーを向上させ、一人一人が自分で自分の健康を守るように



定年前だけではなく、定年後の社員の健康増進を実現するためには、医療者からのケアだけではなく、自分で自分の健康を管理できる「健康に対する意識・知識」が必要です。常日頃より健康に対する知識が身についていくよう、社内での教育を充実させます。

周りを頼って、心の健康も大切に



自分の不調に気づくためのセルフケア、周囲が気づいて声をかけてあげられる「ラインケア」を基本に医療・保健スタッフによる関わりで不調の早期発見、体調回復を目指します。保健スタッフから医療機関へのスムーズな連携も行っています。また普段からいつでも保健スタッフが相談に乗れる体制や社内カウンセリング、また社外でのカウンセリングの体制も整えています。色々な形でのサポートを用意し、また休業中の方へも早期改善・再発防止を目標にサポートを行っています。

従業員はもちろん、家族も大切に



従業員が「健康」を保つためには、家族も健康であることが大切だと考えています。家庭のことで悩んでいる従業員の相談も聞き、その後のことまで一緒に考えます。病気の悩みであれば医療・保健スタッフが、専門的な医療機関の紹介やその後のことまであわせて一緒に考えます。



自身で目指す「健康」の姿



バランスの
いい食事



適度な運動



良質な睡眠

健康は年齢によってその「認識」が変わっていきます。

加齢に伴う変化の中でも、我々が考える「健康」に必要なことを再認識する必要があります。

健康とは「病気ではない」ことではありません。

まず肉体的、精神的、社会的に満たされていることが基本となります。

そのために必要なことを提案します。

- ① 加齢に関係なく、健康に「動ける」こと
- ② 社会的なつながりが充実していること
- ③ 好きなことを楽しめること

健康を守るために必要な「知識」「認識」「方法」を会社が提供します



健康診断などをもとに自身の健康状態を一緒に見直していきます。



定期的な勉強会を開催し、健康に必要な知識の提供を行います。



定期的な健康イベントを開催し、「方法」を具体的に提案します。



健康で広がる 幸せの輪

健康であることが誰のためになるのかは非常に重要です。

自分自身のためというのはあたり前ですが、
健康は自分だけのためのものではありません。

自分が病気になったら困るのは、心配になるのは、苦勞するのは自分だけではありません。

健康は会社のためではありませんが、会社は従業員の健康を望んでいます。
それは一人一人がかけかえのない存在であり、一緒に働いていく仲間だからです。



病気と向き合っていくのは非常に大変です。

「労力」「時間」「お金」「心」を少しずつ奪われます。

支えあうことも大切ですが、自立し支えあうことで届く願いは大きくなります。

健康とは自分自身のためのものですが、

自分の「大切な人」「仲間」のためのものにもなります。

だからこそ、不二製油では従業員の健康保持・増進に努め、
さまざまなサポートを行います。



健康であることを 会社の文化に

健康で得られる大事な資産があります

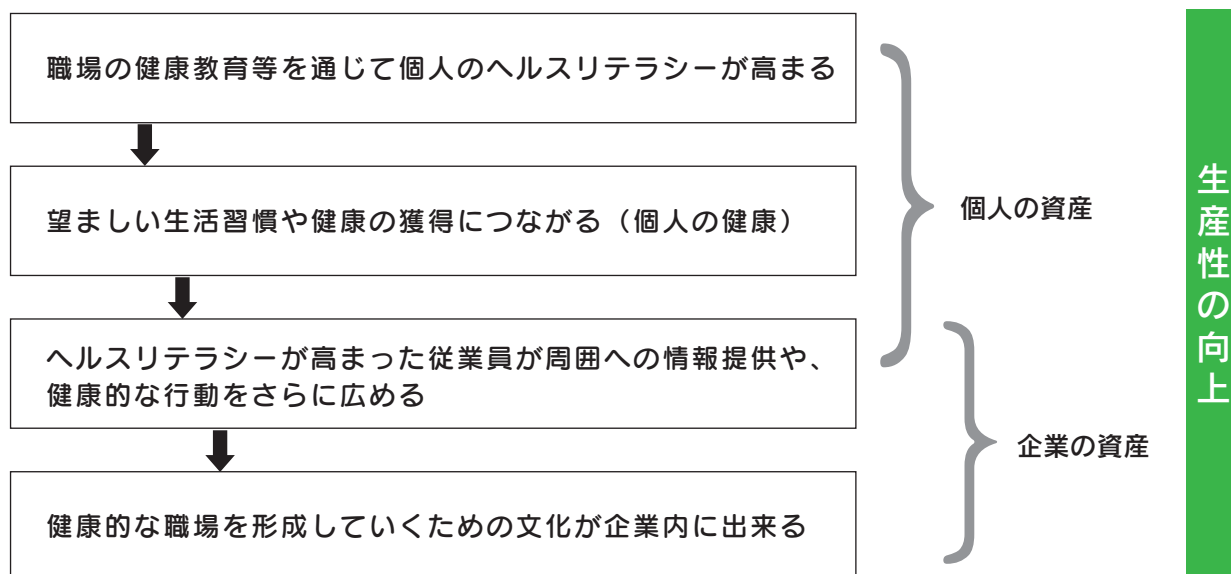
大切な従業員の健康を守ることで、会社としての価値を高めていきます

ヘルスリテラシーの向上を目指す

生涯を通じて成長できる資産（個人）

生涯を通じて成長させられる資産（企業）

「健康情報にアクセスし、理解し、使える能力」



目標とする人材像

我々が目指す「健康」を実現するために、従業員に求める姿とは？



理解する

- ・ 健診結果を理解し、説明できる
- ・ 不二製油の健康指針について理解し、お客様に説明できる
- ・ 自分に必要な医療、食生活、運動習慣について理解し説明できる
- ・ メンタルヘルス、セルフケアについて理解し、説明できる



考える

- ・ 健診結果から、その後の自分がやるべき健康法を考えられる
- ・ 不二製油の製品を使った自分の生活にあった健康法を考えられる
- ・ 健康的な習慣を実践し継続するための工夫を考えられる
- ・ セルフケアとして出来ることが何か考えられる



行動する

- ・ 健診結果から、生活習慣の改善や必要な精密検査・治療を行う
- ・ 実際に健康的な習慣を実践し継続する
- ・ 困ったときには周囲に相談できる。医療機関とつながることができる



健康施策 1

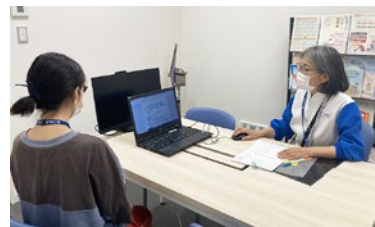
健康経営に関するさまざまな取り組み・施策をご紹介します

■ 各種相談窓口の設置

健康管理室では、栄養相談・睡眠相談・女性の健康相談・家族の健康相談など各種相談窓口を設置し、従業員をサポートする体制を整えています。

外部機関と連携し、個人が特定されることなく婦人科・不妊等の無料相談や無料検査を受けられるようにしています。

社外のカウンセラーによる相談日を各事業所で設けています。社内の支援体制に加え、社外の第三者にも気軽に相談できる環境を整えています。



■ ライフキャリアカウンセリング

産業カウンセラー・キャリアコンサルタントが常駐し、従業員のライフキャリアサポートを行います。自己キャリアメイキング、仕事と治療の両立、ワークライフバランス、業務内容や人間関係、ハラスメントなど、従業員は自由にいつでも相談できます。キャリア採用者とは入社3か月後に面談し、不二製油の全従業員がそれぞれ活躍できるようサポートしています。



■ コミュニケーションセミナー

従業員同士の人間関係のストレスを減らすため、カウンセラーによるコミュニケーションセミナーを実施しています。部署ごとで開催して同僚とコミュニケーションの特徴に気づきあったり、今後の業務でのコミュニケーション改善に取り入れてもらいます。

オープンセミナーとしての開催もあり、所属部署など関係なく従業員が自由に選択して受講できるようになっています。自分のコミュニケーション力を高めるために活用することができます。



■ ヘルスリテラシー向上施策

健康管理室前に本棚を設置し、医療・健康に関する「書籍」「漫画」をそろえています。従業員は休憩時間に自由に読むことができ、身構えることなく、健康知識を得られる環境を整えています。





健康施策 2

健康経営に関するさまざまな取り組み・施策をご紹介します

健康関連セミナー

2023年に「健康白書」を発行し、従業員の健康経営指針を明確化しました。「高血圧」「不妊治療」「オーラルケア」などの講話やセミナーを実施し、延べ157名が参加。今後も「メンタルヘルス」など多様なテーマで健康意識向上を図り、心身ともにいきいき働ける職場づくりを推進しています。



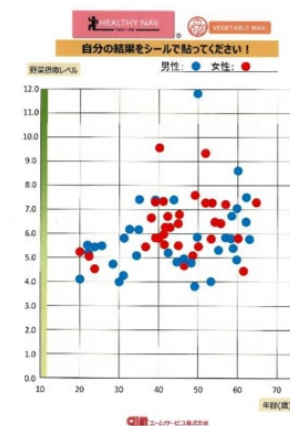
禁煙

2025年度から就業時間内の全面禁煙を実施し、より健康的で快適な職場環境づくりを推進しています。2024年度に東京支社で先行導入した取り組みに続くもので、希望者には保健医療スタッフによる6か月間の「卒煙プログラム」を提供し、現在9名が参加中です。また、伊藤忠連合健康保険組合のオンライン禁煙プログラムへの参加も促進し、毎年一定数の参加者がいます。禁煙支援を通じて、社員の健康と働きやすさを両立させる健康経営を推進しています。



健康関連イベント

2024年度より、血管年齢・自律神経・野菜摂取量（ベジチェック）を測定できる健康イベントを年2回開催しています。ベジチェックでは管理栄養士が測定結果をもとに野菜摂取や栄養について説明し、翌日には社員食堂で野菜メニューを提供するなど、従業員の行動変容を促しています。2024年度は各回約140名、2025年度5月は145名が参加し、今秋も開催予定です。



健康コラム

従業員に知っておいてほしい健康知識や、従業員の健診結果に基づいたデータ統計などを「健康コラム」にまとめ、毎月社内イントラネットや事業所内サイネージに掲載しています。各事業所安全衛生委員会では医療スタッフがコラムの内容を深掘りして説明し、従業員のヘルスリテラシー向上に繋げています。





健康施策 3

健康経営に関するさまざまな取り組み・施策をご紹介します

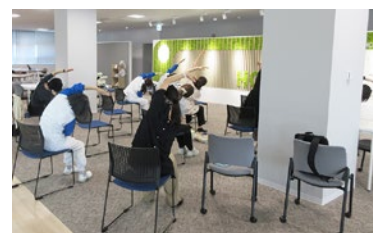
運動機能測定会

阪南事業所では 2023 年度より、大阪河崎リハビリテーション大学の専門家による体組成・ロコモ・柔軟性・筋力などのヘルスチェックを半年ごとに実施しています。2025 年 5 月には骨密度測定も導入し、167 名が参加。測定後は専門家から個別アドバイスを受けられることも好評です。これらの活動内容は学術論文（Imaoka et al: 2025）として公表されており、職場での健康づくりの先進的かつエビデンスを有する実践例として注目されています。2024 年度からは千葉・関東工場でも実施し、計 128 名が参加。今後も継続し、従業員が長く生き生き働き続ける会社を目指します。



運動

2025 年度より、従業員の健康維持やストレスケアを目的に、月 1 回社内です外部インストラクターによるヨガ教室を開催しています。業務の合間にリフレッシュできる時間として好評で、気軽に健康づくりに取り組める職場環境を目指しています。伊藤忠連合健康保険組合のウォーキングキャンペーンでは、2024 年度に 71 名、2025 年春には 39 名が参加し、楽しみながら健康増進に取り組む機会を提供しています。



Inbody の設置

阪南事業所の健康管理室に Inbody を設置し、従業員の高齢化や変則的な働き方による生活習慣病予防を支援しています。2024 年度は 388 回、2025 年度は 7 月時点で 178 回の測定が行われ、自主的な利用が増加。自身の体の状態を把握し、健康意識の向上を促す取り組みです。



自社製品を活用した健康メニューの提供

2022 年度に関東工場、千葉工場、阪南事業所内に設置している食堂を全面リニューアルし、食の面からも従業員の健康をサポートしています。大豆ミートなどの自社製品を使ったメニュー（F-lunch）を提供し、愛社精神の醸成につながるだけでなく、食習慣改善意識の向上や、人と地球の健康にも貢献しています。





地域を巻き込んだ活動

健康経営に関するさまざまな取り組み・施策の中からいくつかをご紹介します

マルシェ

不二製油は、就労困難者や障がい者の雇用支援を行う株式会社泉州アグリを応援し、阪南事業所で毎週木曜に新鮮な野菜を販売するマルシェを開催しています。新入社員もトウモロコシの作付けや販売に協力し、従業員の健康促進と地域貢献を目指しています。



つげさんプロジェクト

貝塚市、大阪河崎リハビリテーション大学、不二製油が連携し、高齢者のフレイル・ロコモ・認知症予防に取り組むプロジェクトは、自助・共助・公助の実践として評価され、複数の賞を受賞。2025年には大阪・関西万博のヘルスケアパビリオンで成果発表を行いました。



食育活動

不二製油は2014年から放課後NPOアフタースクールと協働し、子どもたちに食の大切さを伝える「食育プロジェクト」を実施しています。大豆・パーム・カカオを題材に持続可能な食を考える講義も教育機関で展開し、2025年には大学生と共に「食育推進大会」に出展しました。夏には関西万博のORA 外食ORA 外食パビリオン「夏～UTAGE～」において「ミライチョコスクール」を開催し、多くの人に食の未来について学んでいただきました。



看護実習の受け入れ

2023年度より、地元の専門学校で看護学生実習を受け入れています。

2025年は4日間で、8名の学生に学んでいただきました。

健康管理室内での医療スタッフの業務の見学や、従業員へのインタビューを通して、実際に社会で働く人々への看護の役割を学ぶ場を提供しています。



泉佐野保健所 地域・職域連携推進会議

泉佐野保健所主催の「地域・職域連携推進会議」に参画し、2024年度から自治体や企業と連携して健康づくりを推進。社員が定年後も地域で健康に暮らせるよう、在職中から地域を意識した健康習慣の定着を目指しています。行政・地域との連携を継続し、持続可能な健康づくりに取り組んでいます。





健康経営の取り組み結果

社員の健康に関する取り組み状況を、KPIを設定したうえで評価します

統合的に分析した社員の健康データは健康施策のPDCA実行や、各事業所における、健康をサポートする職場づくりにも役立てます

	年	目標	2020	2021	2022	2023	2024
01 ストレスチェック受検率		100%	94.9%	93.1%	92.8%	94.2%	94.4%
02 高ストレス者割合		10%以下	5.9%	10.7%	8.6%	9.1%	9.0%
03 喫煙率	2027	15%以下	19.3%	20.1%	20.1%	19.1%	19.2%
04 定期健康診断受診率		100%	100%	100%	100%	100%	100%
05 二次検診受診率		100%	93.0%	98.6%	95.7%	95.3%	96.4%
06 適正体重維持者率 (BMI 18.5-24.9)		70%以上	68.4%	67.8%	70.2%	68.2%	68.9%
07 特定保健指導実施率			37.1%	38.9%	36.8%	32.9%	-
08 特定保健指導対象者割合			18.8%	18.6%	16.0%	16.9%	-
09 特定検診受診率 ^{※1}		100%	94.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
10 保健指導実施率		100%	126.1% ^{※2}	99.3%	99.4%	100%	98.8%
11 適正血圧維持者率 ^{※3}			47.3%	47.8%	49.4%	48.8%	48.9%
12 高血圧に該当しない人の割合 ^{※4}	2030	80%以上を維持	82.8%	83.1%	82.5%	84.0%	82.9%
13 多量飲酒率 (60g/日以上)		0%	7.6%	6.2%	1.2% ^{※5}	0.7%	1.1%
14 健全な睡眠習慣率 (睡眠時間6~7時間以上/日、且つ日中の眠気がない)					30.0%	30.5%	30.7%
15 アブセンティーズム (メンタル不調による休業日数総数)	2027	2000日	649日	1702日	2348日	3136日	2430日
16 アブセンティーズム (内科外科による休業日数総数)			641日	952日	793日	646日	852日
17 生活習慣起因の長期休業日数 ^{※6}		0日			0日	0日	0日
18 プレゼンティーズムによる 生産性損失割合 測定人数/回答率					36.5% 1671人/92.8%	21.7% ^{※7} 1699人/94.2%	25.6% 1740人/94.4%
19 ワークエンゲージメント ^{※8} 測定人数/回答率					50.6 1671人/92.8%	50.4 1699人/94.2%	51.0 1740人/94.4%
20 運動機能測定会参加 延べ人数						274人	444人

※1：除外対象は海外駐在、妊娠婦、6か月以上の長期入院等

※2：2020年度のみ、対象者への指導延べ数

※3：収縮期血圧≤120mmHgかつ拡張期血圧≤80mmHg

※4：収縮期血圧≤140mmHgかつ拡張期血圧≤90mmHg

※5：2022年度よりアンケートの質問内容改訂

※6：生活習慣起因の心疾患・脳血管疾患による14日以上での休業日数

※7：2022年 WHO-HPQ 2023年～東大1項目版

※8：コトレヒト・ワーク・エンゲージメント尺度と関連の高い独自の調査票で測定した偏差値（高いほど良好な状態を示す）

 不二製油